



2024年 3月31日発売予定

安保研レポート選集 手にしたい”真心の政治”

浅野勝人 監修

いま、知っておくべき内政・外交の重要課題について
元党首や大臣経験者らの手による35編の粒ぞろいの評論！

- ◇ メンバーは、元・内閣官房副長官からマスコミ出身者、外国人留学生まで！
アジア太平洋地域の平和と繁栄を考える「安保政策研究会」レポート集
- ◆ アメリカ大統領選、北朝鮮、ウクライナやガザの戦争などの国際情勢をはじめ、
裏金、防衛、選挙制度の問題など、「現在」を知るための重要テーマを幅広く展開

≪執筆者≫※肩書きは元職

浅野勝人(NHK解説委員、内閣官房副長官)、柳沢協二(防衛庁官房長)、赤松正雄(厚生労働副大臣)、
星野元男(時事通信台北・香港・北京支局長)、登誠一郎(OECD特命全権大使)、渡辺正人(JICA理事)、
【特別寄稿】河野洋平(衆議院議長、副総理、外務大臣)、古賀徹(自民党幹事長、運輸大臣) 他全15名

「これほどいびつにしか世論を反映しない選挙制度の下での政権交代はまともではありません」
—浅野勝人(『はじめに①』より)

「いま、自衛隊が戦火を交えることが現実味を帯びて予想される。憲法を言い訳にはできず、
自衛隊を使う結果について責任を伴う判断をしなければならない時代になった。(中略)
私が危惧するのは、日本には、判断の誤りを検証し修正する政治文化がないことだ。これでは80年前の戦争の誤りを繰り返しかねない。
軍事においては、愚かなことが最大の罪である」
—柳沢協二(『憲法9条は「人生の現実」“a fact of life”』より)

「30年前の改革の結果がこの体たらくで、政治家の責めは重いと自覚している。(中略)今回は与野党とも政治的思惑を超越して、
国民の政治不信を払しょくする取組が期待されている。私たちの世代の中途半端に終わった政治改革を「刷新」してほしい」
—河野洋平(特別寄稿/『見とどけたい”真心の政治”』より)

監修:浅野勝人(あさの・かつひと)

一般社団法人・安保政策研究会理事長。早稲田大学第一政経学部卒業。NHK政治記者、解説委員。1990年、衆議院議員、2004年、参議院議員。
防衛政務次官、外務副大臣、内閣官房副長官、自民党副幹事長を歴任。著書『北京大学講義録 日中反目の連鎖を断とう』(NHK出版)ほか多数。



定価：1600円+税
四六判・上製/248ページ
定価：1600円+税

青灯社 営業
(担当・辻)

FAX: 03-5368-6943

TEL 03-5368-6550

取次: トーハン、日版、楽天BN、八木書店、JRC、新日本図書

eメール info@seitosha-p.co.jp

(書店印)

浅野勝人 監修

安保研レポート選集 手にしたい”真心の政治”

冊

ISBN 978-4-86228-130-2 C0031

定価 1600円+税